

TOYAMA KYORITSU

みんなの笑顔あふれる富山協立病院へようこそ

ALL STAFF
KIRAKIRA
SMILE!!! 😊



ALL STAFF
KIRAKIRA
SMILE!!! 😊



yakuzaishi



🌈
2024年秋
病院リニューアル!!

5階建て新棟
建設します!



Recruit News

- *病院概要
 - 病院名 > 富山協立病院 / 病院長 山本美和
 - 所在地 > 富山県富山市豊田町 1-1-8 TEL 076-433-1077 FAX 076-433-0491
 - 創立日 > 1975年4月1日
 - 病床数 > 174床 (一般・地域包括、医療療養、障害者)
- *待遇
 - 昇給 > 年1回
 - 賞与 > 年2回 (昨年実績 3.4ヶ月)
 - 各種手当 > 夜勤手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当、ほか
 - 休暇制度 > 年間110日 4週6休シフト制 (盆年末年始、夏冬季休暇含む)
年次有給休暇 (初年度10日、2年次以降15~20日、最高40日)
特別休暇 (結婚休暇、つわり休暇など)、永年勤続 (リフレッシュ) 休暇
生理休暇、育児休業、看護・介護休業制度あり
 - 福利厚生 > 健康保険、厚生年金、労災、雇用の各保険、職員共済制度、退職金制度、院内保育園、職員寮



くわしくは
富山医療生活協同組合
HPの採用情報をご確認
ください!!



Click



疾患予防に携わることができる

魅力



sagyo
ryohoshi

薬剤科の魅力は
他の病院にはない

柔軟性



看護師で
よかったと強く
実感

kangoshi

Check!!

スタッフの
生の声を
掲載して
いますヨ



「いつでも、だれでも
いつまでも」

全ての方が健康で幸せに暮らせるまちづくりに貢献。
働く職員の健康と幸せのために。



富山医療生活協同組合
富山協立病院 〒931-8501富山県富山市豊田町1-1-8
TEL 076-433-1077
kyouri2.toyama-hcoop.com/▶



看護部▶



富山医療生活協同組合 富山協立病院

いつでも だれでも いつまでも 安心して医療が受けられる病院です



どなたでもお気軽にご来院ください。まずは富山協立病院に相談しよう! と思っただけであればシアワセです。

外来

Outpatient



内科を中心に複数の診療科と専門職の連携が光る

家族ぐるみで受診が可能な病院です。健康診断から慢性疾患、そして人生の終末期まで対応いたします。

外来、入院、在宅と切れ目のないサービスをチーム医療で支えます。

予約制を導入し、専門外来、看護外来、栄養指導も行っています。

専門外来や患者教育を強化し、慢性疾患医療の充実に努めています。

診療時間

午前診療 8:45 ~ 12:00

午後診療 14:00 ~ 16:00 (火曜休診)

夜間診療 16:00 ~ 19:00 (火・水・金)

透析

Dialysis



マラソンの伴走者のように維持透析を支える

透析センターでは血液透析のほか、最新のオンライン-HDFを実施しています。

安心・安全な透析を行うために、医師・看護師・臨床工学技士のチームワークで患者さんを支えています。特にシャントトラブルや下肢病変の予防に力を入れており、セルフケアの指導と異常の早期発見に努めています。

また、通院困難になった場合でも、入院して透析を受けることができます。



リハビリテーション

Rehabilitation



日常生活活動の自立あるいは介助の軽減を図る

一人一人の状態に応じて、運動療法、物理療法、生活動作練習、装具療法などを組み合わせて行います。

当院では摂食嚥下のリハビリ、嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)を積極的に実施しています。



診療科

Department

内科

消化器科

乳腺外科

栄養指導



ほか 整形外科・皮膚科・泌尿器科・リハビリ科・耳鼻咽喉科・肛門科・腎透析
糖尿病専門外来・循環器外来・漢方外来・禁煙外来 など

入院

Hospitalization



個室も含めて差額ベッドのない病院

「無差別・平等で誰でも安心して受けられる医療・介護」を実践しています。



2 交替および 3 交替
平均夜勤回数 8 回 / 月

プリセプターシップ導入
チームナーシング
モジュール継続看護方式

病床数

一般・地域包括病棟 (45 床)

医療療養病棟 (60 床)

障害者病棟 (49 床)

地域連携室

Regional cooperation

無料・低額診療事業

Free and low-cost medical care

自院と他院・多施設をつなぐ部署

医療機関へのスムーズな受診・入院手続き、退院・転院における医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設との連携を担っています。

また、経済的な問題や社会資源活用の相談、介護保険の申請・利用の相談、他の病院・施設の紹介など、地域の医療機関と連携を密にし、患者様・ご家族の様々な不安や問題解決に役立つ医療・介護・福祉の相談窓口です。

経済的な問題を抱えている方に寄り添う

無料または低額な料金で診療を行う事業を実施しています。



「最期は家で家族とともに」という思いに寄り添い、支える病院です😊

高齢者の尊厳の保持、自立生活の支援、可能な限り住み慣れた地域での生活の維持をめざしています。

訪問診療

Home-visit medical care



「最期まで自分らしく暮らしたい」
気持ちに応えるのが訪問診療

それまでの生きかた、背景や価値観を総合して捉え、患者さんやご家族と一緒に治療方針を考えます。

『ときどき入院 ほぼ在宅』を目標に月2回のカンファレンスで入院部門と連携し必要な時は迅速な対応が可能。早期回復・重症化予防、生活機能の低下を最小限に在宅を見据えた退院支援をしています。



Episode.1

同じ思いを持った仲間がいる

Aさんは脳卒中で倒れ、寝たきりの状態になりました。発症直後は口から食べることができず、回復を願って胃ろうを造設されました。

リハビリスタッフの介入の成果もあって、車いすに乗って自分の力で食べられるまで回復しました。数年後、癌を患い闘病後の終末期。在宅に関わるたくさんのスタッフで話し合いを重ね、元気だったころのAさんの生きかたに寄り添いながらケアの決定をしていきました。最後は無理に延命治療をせず、自宅でご家族の見守るなかで息を引き取られました。

人生会議

Life meeting



ACP (アドバンス・ケア・プランニング)の
取り組み

将来の意思決定能力の低下に備え、今後の治療や療養について、患者さんやご家族、医療ケアチームがあらかじめ話し合いを行います。

意識障害など病状の変化があった時、食べられなくなった時、訪問診療の契約時などに、本人・家族の意向や価値観を尊重した意思決定ができるようにチームで支援しています。

Episode.2

職種の枠を超えて病院から飛び出して



腰痛がきっかけで動けなくなり、掃除が行き届かなくなってしまったBさん。

十分な医療や介護を受けられるよう、職員で知恵を出し合ってサービス提供の方法を考えました。介護ベッドが入れば、介護サービスが介入でき、腰に負担なく動けるようになります。しかし介護ベッドを入れるスペースがない！どうしよう…と困って院内に呼びかけると、数名の職員が片付けの手伝いに参加してくれました。

Episode.3

患者さんのために 行動ができる

C夫妻は、寝たきりのCさんと、認知症の妻の2人暮らしでした。訪問診療を開始した当初、台所にベッドが2台設置しており、居間は物置状態でした。Cさんの入院をきっかけに、リハビリスタッフとの協力で生活環境を整えに行きました。これによってヘルパーの仕事がしやすくなり、サービスが行き届くようになりました。



※スタッフがマスクを着用していないお写真につきましては近年のものではございません

高齢化・核家族化が進み、独居の患者さんが増えています。また、高齢者夫婦による老々介護の割合が高く、医療面だけではなく、患者さんの介護・生活により深くかかわった対応が求められています。

患者主体のサービス提供を考え、時には職種の枠をこえて協力し合える仲間がいる病院です。



地域をまるっと健康にするための活動や働きかけが活発な病院です



地域のみなさんの保健予防活動や、健康づくりのサポートを積極的にを行い、支援の実現をめざしています。

健康支援センター

Health support



定期的な健康診断を勧める

生活習慣病をはじめ、さまざまな病気の早期発見・早期治療はもちろん、病気そのものを予防することを目的に行われています。病気を見逃さないためにも、定期的な受診が必要です。

保健予防活動

Insurance preventive activities



地域まるごと健康づくり

組合員と協同で健康チェックや、健康学習会を行い、地域のみなさんの健康づくりをサポートしています。医師、看護師、セラピストなどの専門職員が、積極的に参加し身近な相談役として活躍しています。

アウトリーチ活動

Outreach activities



こちらから積極的に働きかける

支援の実現をめざす活動です。病院の外へ医療を届け、健康診断の重要性や治療中断の防止などを組合員とともに呼びかけます。

組合員活動

Union member activities



組合員と職員が支えあいながら活動

組合員のみなさんは、ボランティアとして病院運営を支援してくれています。近年では防護服やエプロンが不足している時、呼びかけに応じて手作りし、医療活動を支援してくれました。



Staff voice

現役職員ナマの声です。ぜひ読んでみてください☆

※薬剤師

E.A.さん

私は現在、2人の子育てをしながら働いています。当院は子育てへの理解があり、また保育園も併設しているため、産後も働きやすい環境になっています。妊娠・出産を経ても続けられる環境は、とてもありがたいと思っています。薬剤科スタッフも子育てにとっても理解があり、子どもの病気などで急に休むことになってもお互い様精神でサポートしあえるので安心してこの安心感が仕事を「がんばろう」と思っている源だなと思います。



※薬剤師

Y.I.さん

私は、当院の薬剤科の魅力は他の病院にはない『柔軟性』だと思っています。各々の学びたい・取り組みたいことの実現に向けて、薬剤科全体でサポート合っています。また、当院での薬剤師の業務は NST、ICT、緩和ケアチーム、糖尿病チームへの参画、透析など多岐にわたっており他職種との連携も欠かせません。そのため他職種との距離が近く、臨機応変に各患者さんに対応ができることも良いところだと思っています。

※看護師

R.Y.さん

私は、病状が安定した後に安心してお家に帰るために心身の状態を整え、在宅での生活準備を行うための地域包括ケア病棟で勤務しています。患者さんとご家族が、どのようにすれば安全で安心した生活を送ることができるのかを共に考え、不安をひとつずつ解消しながら退院の調整を行っています。患者さんと丁寧に向き合い、個性性を考えた看護ケアを提供していくことにやりがいがあり、無事在宅へつなぐ笑顔で退院される姿を見送る時、看護師でよかったと強く実感します。今後も患者さんご自身が納得して最大限幸せに生活していくことができる道を選べるよう支援していきたいと思っています。



院長 山本より Message

富山協立病院は、地域のくらしと医療を守るため、1975年4月に「豊田病院」として開設し、地域や組合員の皆さまに支えられ「いつでも、だれでも、いつまでも」安心して受診できる、頼りになる病院を目指してきました。

「気軽に様々な相談を受ける」「差額ベッド料をいただかない」「収入の少ない方の無料低額診療」「開設時から取り組んできた在宅医療」「健康教室や班会参加などのアウトリーチ活動」「平和や社会保障を考えた運動」など、医療生協の病院としてしっかり歩んでいることを誇りに感じています。

現在、超高齢社会を迎え、格差と貧困が広がる社会において、地域に根ざす病院の役割は重要です。健康で幸せに暮らせるまちづくりに貢献し、働く職員の健康と幸せのために、これからも進んでいきたいと思っています。

病院利用や採用など、お気軽にお問い合わせください！

076-433-1077

WORKER うれしいポイント

院内で働く職員のお子さんをお預かりします。

頼りになるベテラン保育士さんのおかげで安心して働くことができますよ★敷地内併設だから便利で安心！お子さんのお食事、おやつは全て手作り！こだわりの愛情たっぷり無添加食です♡



こばと保育園

- 0～2歳児の保育をしています。
- 保育料 月極（勤務体制によって日割り対応）
- 延長保育料はいただいません。

保育時間

平日 7:45～18:00
※遅番対応 20:00
土曜 7:45～12:50
※遅番対応 18:00

